

《所沢税務署管内納税貯蓄組合連合会 優秀賞》

笑顔があふれる社会へ

向原中学校 三年 長谷川 凜歩

みなさんは、税と聞いてどのような印象を持っていますか。私は税に対してあまり良い印象を持っていません。なぜなら、ニュースや新聞などで明るい報道を目にしていないからです。そこで、税について詳しく調べてみることにしました。

まず、税金とは、国や都道府県、市区町村で私達が健康で文化的な生活を送るために個人ではできない様々な仕事をし、その国民みんなで出し合っている費用のことを税金と言います。私達の暮らしから税金がなくなると、勉強を教えてくれる人がいない・ゴミ収集車が来ないためゴミが街中にあふれ不衛生になるなどの問題が起きてしまいます。そうならないように良い形で税金を収めていくことが大切なんだなと思いました。

その一方、日本では少子高齢化が進んでおり高齢化に伴う社会保障の費用は増え続け税金や借金に頼る分が増えていることが分かりました。公園や学校などに使われているだけではなく、社会の問題を解決するために税が作られていることを知ってとても驚きました。ブルガリアでは昔、少子化問題を解決するために「独

身税」を導入していた過去があるそうです。独身税とは、一定年齢以上の独身者に課税される税金のことです。ブルガリアで、独身者の収入に5〜10%が課税されていた他、旧ソ連では子供がいない夫婦や独身者に賃金の6%が「子なし税」または「独身税」としてかけられていたことがあったそうです。ですが、いずれも少子化を止めることはできなかったというのが事実です。私はこの情報を通して、少子化が進むと労働人口が減少し経済における成長率が低くなるなど色々な問題が起きてしまうと思います。税金だけでは解決しないとします。自分だけではなくみんなが平等に生きていけるような社会を作っていくことが課題だと私は考えました。

改めて、税とはどのようなものなのかを知ることができました。税に対して全部が全部良い印象になるとは限りませんが、これから生活していくうえで税とは身近なものになり、しっかりと向き合っていかなければならないので情報を得て税と真剣に向き合っていきたいなと思いました。